

組織・グループ名	Skip ～障がいのある子もいない子も一緒に英語であそぼう！～
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 〔 当事者活動支援・福祉の学び推進・地域福祉ニーズ(課題)対応 地域福祉コミュニティ構築 〕 ● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕
助成事業名	英語をツールとした発達障がい児と地域のつながり創造取組事業

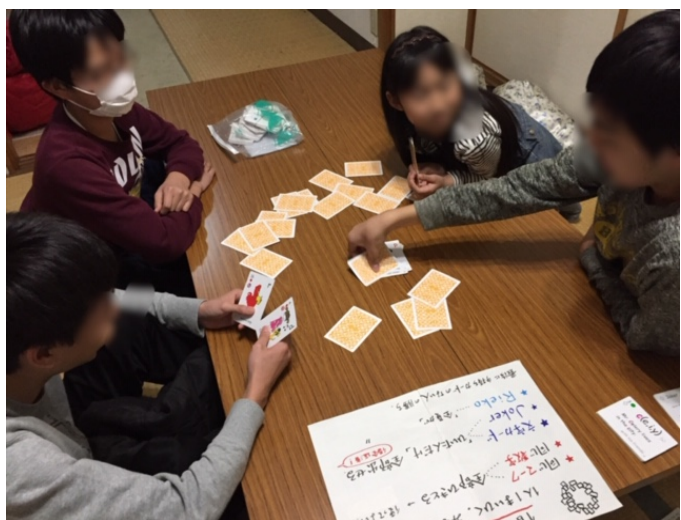
助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

Skip

Skipでは「英語」をツールとして、障がいのある子もいない子も一緒にコミュニケーションを楽しみ、「地域の友だち」として相互理解を深められるよう、発達障がい等に訓練を受けた講師を迎え、年間を通じた毎週の英語活動と、クリスマスお楽しみ会+発表会を行っています。

障がいのある子もいない子も一緒に英語活動

火曜日の放課後、園児・1年生は歌や踊り、絵本を中心に、小中学生はソーシャルスキル向上を意識したゲームや音読、発表を中心に、各々年間43回の英語活動を行いました。町内会館を利用し、子供だけでなく保護者も連携協力し、町内会や祖父母世代の方々も頻繁にお顔を見せてくださって、地域のご理解ご協力のもとに活動しています。



クリスマスお楽しみ会+ミニ発表会の開催

地域でもっと知っていただけるよう町内会の掲示板にポスターを貼ってもらい、友達を誘いチラシも配って、クリスマスお楽しみ会+発表会を開催、親も祖父母もたくさん参加して親睦をはかりました。ここでならできる！という少人数・安心感の中で励まし合いベストを尽くして、親以外からもほめられ、緊張も達成感も課題までもが次に繋がる貴重な経験になっています。

活動の成果

学校で「英語の時間は別人のよう」と言われました。親と講師が連携し一人でバス通いできるようになった小学生、英検合格で自信とやる気を得た中学生もいます。悩みも話せる「安心の居場所」は、その子その子のペースでの確かな成長の場で、今後はPTAや子供会、周辺小学校にももっと紹介し連携していきたいです。